



筑波大学
University of Tsukuba

開発研究センター

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

世界初、藻類バイオマスの総合的開発研究センター



PMC

Research and
Development Center for
Precision Medicine



プレジジョン・メディスン開発研究センター

日本初の 1000 ドルゲノム解析拠点を目標して

スポーツイノベーション開発研究センター

国立大学初 Athletic Department(AD) の社会実験拠点



未来社会工学開発研究センター

地域未来の持続的な社会基盤づくりに向けた研究拠点

ヘルスサービス開発研究センター

健康・幸福をもたらすサービスの学問に特化した日本初の拠点



国際産学連携本部



開発研究センターとは.....page 2

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター.....page 3

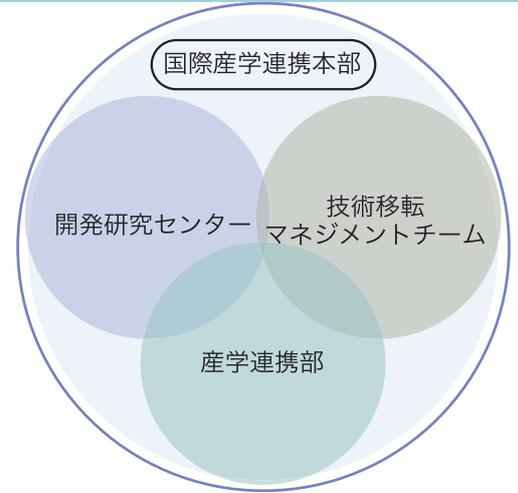
プレジジョン・メディスン開発研究センター.....page 4

スポーツイノベーション開発研究センター.....page 5

未来社会工学開発研究センター.....page 6

ヘルスサービス開発研究センター.....page 7

国際産学連携本部の組織体系



開発研究センターとは

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、国際産学連携本部のもとに順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター設置を予定しています。



金保 安則 副学長(産学連携担当)
国際産学連携本部長



藻類バイオマス分野で、世界最初の総合的開発研究センター

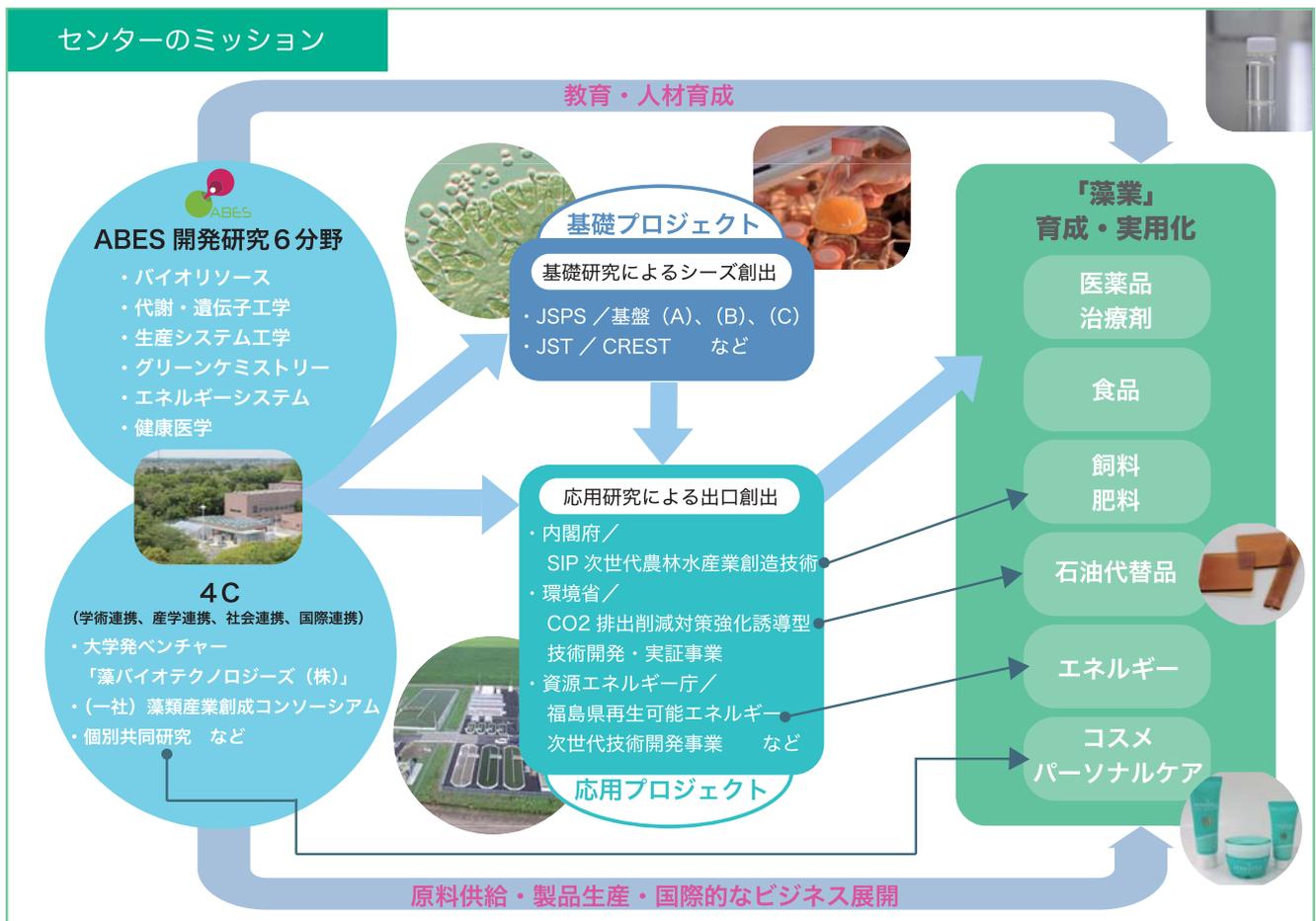
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター（ABES）は、学際的かつ総合的な開発研究センターとして平成 27 年 7 月 1 日に設立されました。

筑波大学創立以来、長い歴史の中で培われてきた研究を土台として、エネルギー収支、CO2 収支、コスト収支が成立する藻類培養～乾燥・濃縮・凝集～エネルギー・プロダクト生産までの全バリューチェーンの開発を目指しています。

今後、さらに 4C（Academic Collaboration: 学術連携、Industry-University Collaboration: 産学連携、Social Collaboration: 社会連携、International Collaboration: 国際連携）を進め、全国規模で「藻業」を展開していきます。



渡邊 信 センター長



IMAGINE
THE
FUTURE.

※開発研究センターとは…

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。



日本初の 1000 ドルゲノム解析拠点を目標して

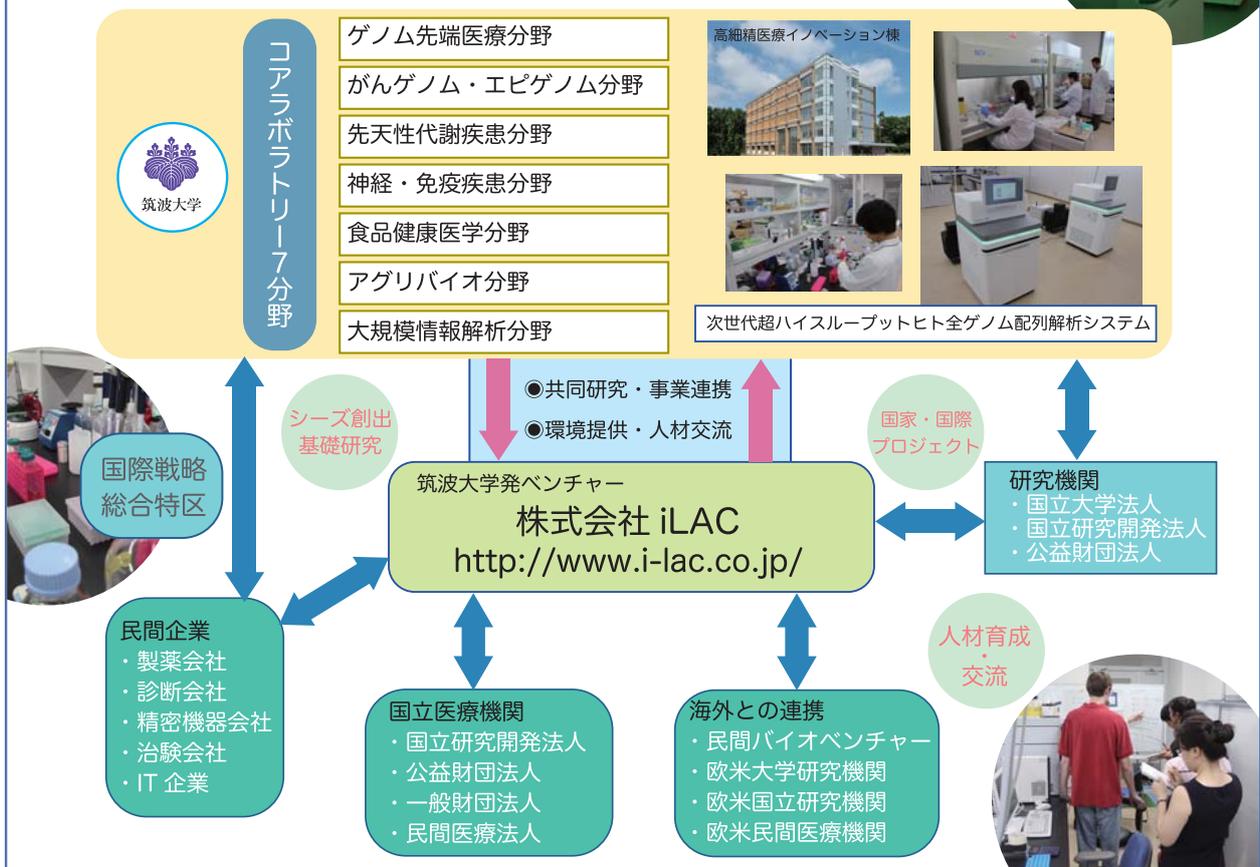
プレジジョン・メディスン開発研究センターは、わが国初の 1000 ドルゲノム開発研究を目指したオミックス解析拠点です。同センターでは、最先端のゲノム解析システムや質量分析システムを用いて、科学的証拠に基づいたがんや様々な病気の診断を行います。当センターでは予防・先制医療研究の機能を兼ね備えた人間ドック「つくば予防医学研究センター」とも連携し、国内外の最先端の研究機関と共同研究を推進しながら、個人に最適の治療や薬の選択につながる「プレジジョン・メディスン（個別化精密医療）」の基盤研究とその実現を目指します。



佐藤 孝明センター長

センターのミッション

筑波大学に、次世代超ハイスループット全ゲノム配列解析システムを導入。産学官で連携した「個別化精密医療（Precision Medicine）」拠点を形成する。



※開発研究センターとは…
外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。



スポーツイノベーション開発研究センター

平成 29 年 4 月 1 日発足

AD（アスレチックデパートメント）の構築を目指して

スポーツイノベーション開発研究センターは、アスレチックデパートメントの筑波大学における設置・推進を目指し、そのために必要な開発研究を行います。ミッションを達成するために、アスレチックデパートメントの理念を設定すること、アスレチックディレクターとスポーツアドミニストレーターの役割と仕事内容を明確にすること、そして、これまで日本では馴染みがなかったこれらの人材を育成する必要があります。

また、地域社会と大学との関係を深めるための議論もしなければなりません。並行して、他の大学と連携しながら日本版 NCAA 創設のための準備を進めていきます。

これらはすべて、学生への支援の充実、地域社会との連携の深まり、そして大学の価値の向上へと繋がっていくものです。



山田 幸雄センター長

AD: アスレチックデパートメントとは…

大学学長の下にスポーツアドミニストレーターを配置し、会計、マーケティング、広報、施設、学生支援など、運動部運営に関わる全般についてマネジメントを担当する部署。

センターのミッション

- 研究** AD 設立の成果や改善点を研究し、日本の大学スポーツを先導する。
- 人材育成** 世界に通用するスポーツアドミニストレーターを育成する。
- 企業連携** 同じ理念を持つ企業と連携し、スポーツ産業に関する改革を推進する。
- 国際交流** アメリカの大学との共同研究や教育を通して、学生へ様々な教育研究の機会を提供する。



IMAGINE THE FUTURE.

※開発研究センターとは…

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。



地域未来の持続的な社会基盤づくりに向けた研究拠点

未来社会工学開発研究センターは、地域未来の社会基盤づくりに向けて研究・社会実装を推進する本格的な産学官連携のオープンラボ拠点です。

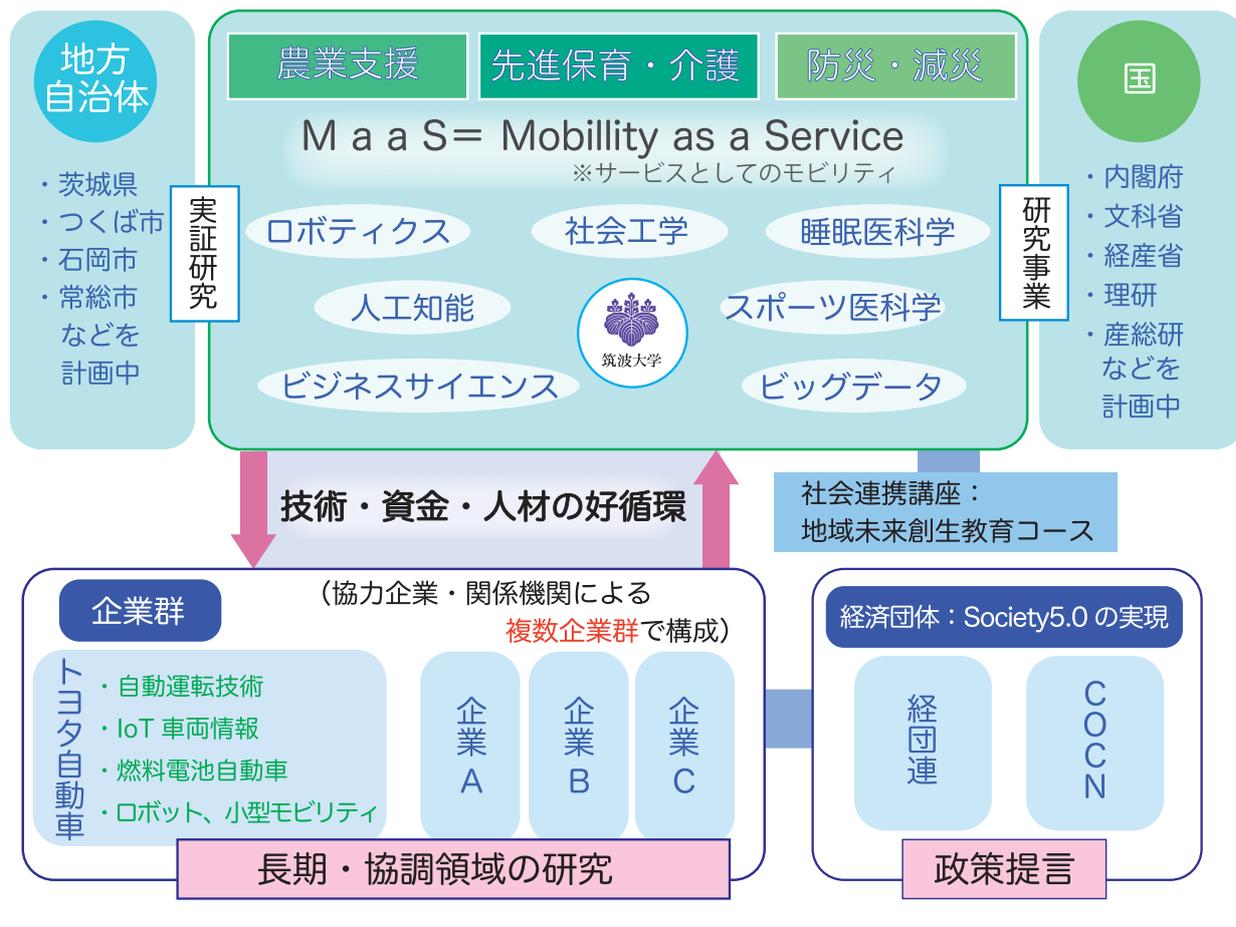
社会工学を核として、筑波大学の学際性と複数企業群による先進技術と自治体による実証実験の連動で地域の経済・社会課題解決へ具体的な政策提言と社会実装を促進します。なかでも、人と社会と自然が共生する地域未来の社会像を見据えて、全ての人が地域差や個人差なく移動ができて、生き活きとした暮らしを実現する次世代自動車交通技術サービスを最重点研究します。また、研究拠点として、産々学々・広域連携を積極的に進めます。



高原 勇センター長

センターのミッション

地域未来の社会基盤づくりに向け、次世代自動車交通技術サービスを構築する



IMAGINE THE FUTURE.

※開発研究センターとは…

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。



生活と調和した医療のためにー Towards health services in harmony with life

この度、平成 29 年 7 月 1 日より、ヘルスサービス開発研究センターが開所いたしました。これは日本初のヘルスサービスリサーチ (HSR) に特化したセンターです。HSR とは、医療を一連のサービスとして捉え、「人に健康・幸福をもたらすサービスを、必要な人に、いかに効果的に届けるか」を研究し、その質の向上を図る学問です。国レベルや地域のデータ分析等を通して、実社会とともにサービス向上を目指します。そして、特に本センターでは、予防から介護福祉を含む広いサービスとその連続性を大切にし、社会に実装することを目指しています。

開かれた大学である筑波大学らしく、みなさまと共にあるセンターとして、歩んでいきたいと思っております。



田宮 菜奈子センター長

センターのミッション

少子高齢化時代において、「人に健康・幸福をもたらすサービスを、必要な人にいかに効果的に届けるか」を研究し、社会に実装する。

政策提言
エビデンス創出

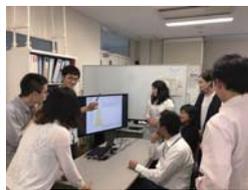
国家との連携

公的ファンド

ヘルスサービス開発研究センター

二次データ活用による学際研究の推進と社会実装を推進

筑波大学
医学医療系
病院
体育系
人間系



二次データ基盤部門
地域包括ケア研究・実装部門
地域予防医学部門
臨床医学部門
グローバルエイジング部門
家族総合政策部門

学との連携

国際連携

税金を使わず Win-win で高齢社会を支える！

産業界との連携

地域との連携

医療関係企業

SOMPO ホールディングス (株)
(株) 日本医療データセンター
(株) GMSS ヒューマンラボ
(株) エス・エム・エス

介護サービス業

地方自治体



急性期病院



回復期病院



在宅介護サービス



老人ホームや
老人保険施設

・老人クラブ
・自治会
・ボランティア
・NPO 等

生活支援
介護予防



※開発研究センターとは…

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。



国際産学連携本部



筑波大学
University of Tsukuba